

なってみる学び 2年音読発表



今日、朝の時間に2年生の音読劇を観に行きました。内容はこれまで国語で学習してきた「名前を見てちょうだい」です。この教材は、お母さんからもらった赤い帽子が風で飛んでいき、それを拾った動物や大男とのやり取りの中で、主人公のえっちゃんが自分の帽子を取りもどすという、不思議で楽しいお話です。



この音読劇を通して、場面に気をつけながら読み、人物の様子や気持ちを想像することが2年生の学習のねらいです。



そうした力をつけるには、声の大小や読む速さだけでなく、授業中に「すましてこたえました」「まぶしそうに見上げていました」「じろり、じろり、見下ろしながら」などの言葉を取り上げながら、登場人物の気持ちを想像するイメージづくりがとっても大切になってきます。また、音読劇では、子どもたち手作りの絵や担任



が用意した赤い帽子も子どもたちが役になりきるのに重要な役割を果たしていました。

聞き手として招待されていた1年生は、「ぼうしがとばされるのがおもしろかった」「なまえをみてちょうだいじゃうずだった」「はくりよくがあった。えっちゃんがゆうきをもっていてよかったです」と感想を書いてくれていました。

2年生の頑張りをたくさん見つけられた1年生にとっても学びの多い時間になりました。



